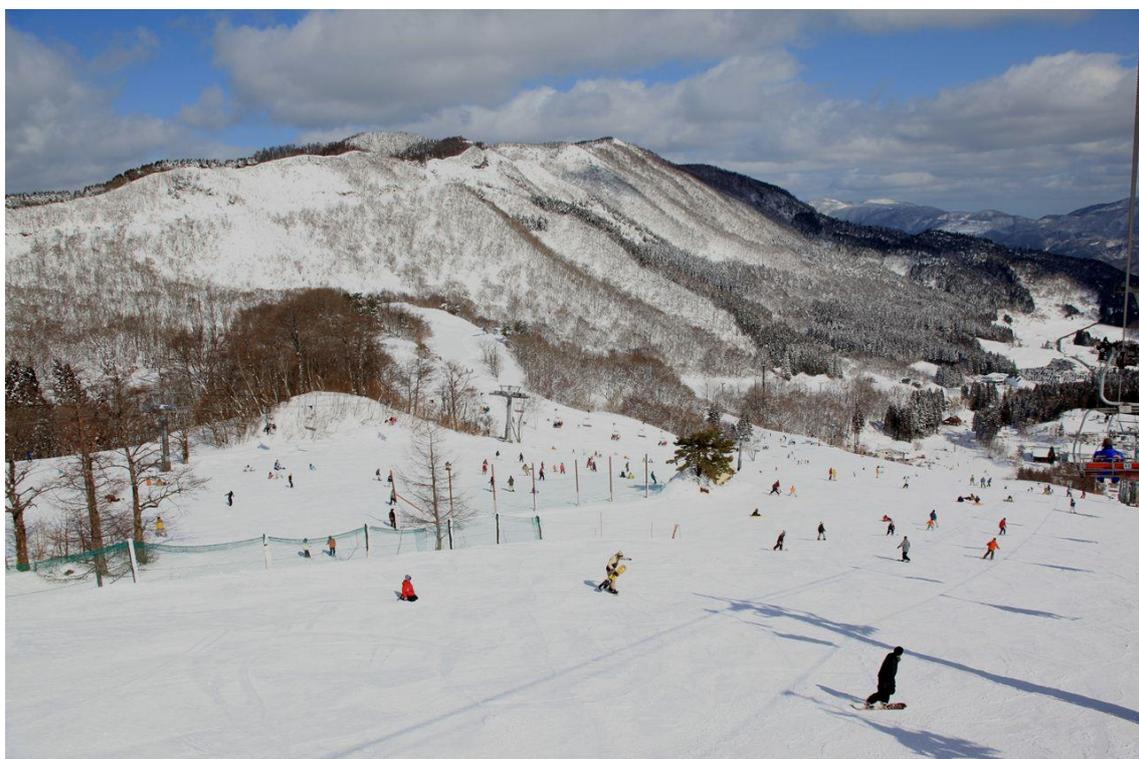


安全報告書（2013年）



鉢伏開発観光株式会社
（ハチ・ハチ北スキー場）

1. 利用者の皆様へ

平素よりハチ・ハチ北スキー場をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

弊社は、安全第一をモットーに掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鉢伏開発観光株式会社 代表取締役社長 平田 真基

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

弊社は、安全第一をモットーとし、安全管理規程に「安全に係る行動規範」として次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

(鉢伏開発観光株式会社 安全管理規程より)

社長、役員及び職員(職員に準ずるものを含む)(以下「職員等」という。)の安全に係る行動規範(安全の基本理念、安全方針)は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程(本規程を含む。以下「法令等」という)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

平成 24 年度の安全目標は「索道運転事故発生 0 件」でしたが、残念ながら平成 25 年 3 月 1 日に「ハチ高原中央ペアリフト」で搬器衝突の事故が発生しました。しっかりと対策をとり、平成 25 年度は「索道運転事故発生 0 件」を達成すべく取り組んでまいります

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成 25 年 3 月 1 日 9 時 5 分頃、ハチ高原中央ペアリフトで搬器衝突事故が発生いたしました。

乗客から「下り線の 7 号柱から 8 号柱間で搬器が重なっている。」との通報を受けた山頂係員は、現場を確認できなかったため山麓係員に状況を確認するよう連絡をし、その連絡を受けた山麓係員が 1 号柱～2 号柱間で搬器が重なっているのを発見して、直ちにリフトを停止させたというものです。

事故当時常に 10～15m/s の風が吹いていたため、速度を 1.6m/s に減速し運転していましたが、突風により 10 番搬器が風にあおられて 8 号支柱の 6 輪ペDESTAL に引っかかり、その搬器に後続の 11 番搬器及び 12 番搬器が衝突したことが原因です。

なお、幸いにもけが人等はありませんでした。

再発防止のため中央ペアリフトに以下の措置をとりました。

- ① 強風時における停止基準を南風の時には「風速 20m/s が 5 秒継続で停止」から「18m/s が 5 秒継続で停止」に変更いたしました。なお、隣接する中央クワッドリフト、中央トリプルリフト、鉢伏頂上トリプルリフトの停止基準も同様に変更しました。
- ② 風速計がこれまで 4 号柱及び 10 号柱に設置されていましたが、観測態勢を強化するため 8 号柱にも増設しました。
- ③ 8 号柱付近の監視体制を強化するため、監視カメラを設置しました。
- ④ 危険を感じたらすぐに停止させるよう、シーズン開始前の社内研修会で再度徹底しました。

今回の事故を教訓として、上記対策を講じ、隣接のリフトも含め同様の事故を起こすことのないように徹底してまいります。

(2) 災害(地震・暴風雨・豪雪等)

視界不良および強風のため延べ 4 日間頂上周辺のリフトを休止しました。

なお、今期のリフトの総運転時間は 11, 632 時間となりました。

(3) インシデント

平成 24 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成 24 年度、監督官庁等からの行政指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育及び緊急時対応訓練

弊社ではスキー場営業開始を前に全従業員を一同に集めた集合研修を実施しており、その場で安全に関する心構えや、救助訓練の実施、リフト運転に関する知識の向上などを教育しております。今期は平成 24 年 11 月 29 日に開催いたしました。

(2) 安全のための投資と支出

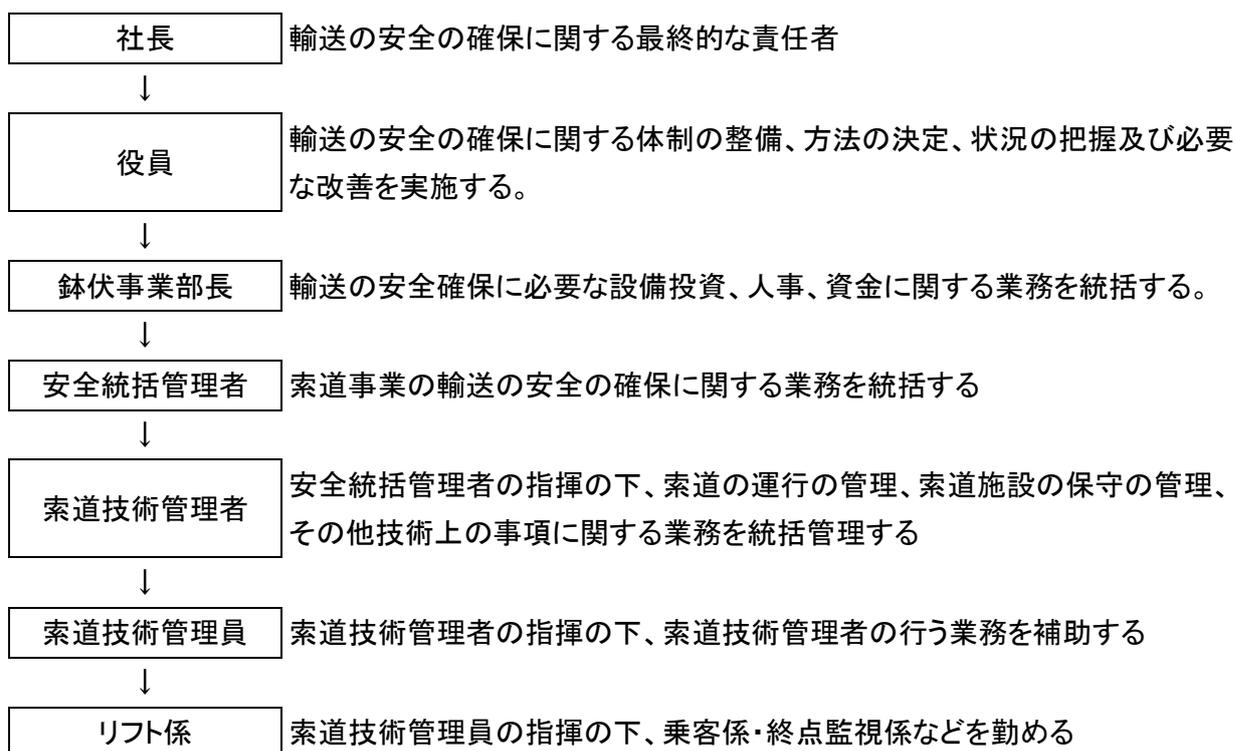
毎期末に安全を最優先に次年度の投資、補修を決定し実行しております。平成 24 年度の主要な実施状況は以下のとおりです。

- ハチ高原中央クワッドリフトの握索機をオーバーホール
- ハチ高原中央トリプルリフトの握索機を更新
- ハチ北高原ファミリーペアリフト・ハチ北高原山麓ペアリフトにセーフティバーを追加
- ハチ北高原アルペンペアリフト・ハチ北高原パノラマペアリフトの油圧緊張シリンダーをオーバーホール
- ハチ北高原野間クワッドリフトのランプレール張替え
- 各所ブレーキパッド交換
- 各所索輪のゴムライナーの交換

平成 25 年度は、事故のあったハチ高原中央ペアリフトの事故対策として風速計及び監視カメラの追加、ハチ高原林間ペアリフトにセーフティバーを追加、ハチ北高原野間クワッドリフトの握索機のオーバーホールを実施いたします。

5. 安全管理体制

弊社の安全管理体制は社長をトップとした以下のとおりとなっております。各リフトでは索道技術管理員が主となり、始業前ミーティングで当日の天候や健康状態などを確認しております。



6. 弊社へのご意見・ご要望

弊社へのご意見・ご要望は下記までお願いします。

〒550-0013

大阪府大阪市西区新町1-3-12 四ツ橋セントラルビル2F

鉢伏開発観光株式会社 鉢伏事業部

TEL: 06-6532-1781

FAX: 06-6532-1777

URL: <http://www.hachi-hachikita.co.jp/>

e-mail によるお問合せも上記URLからお願いいたします。